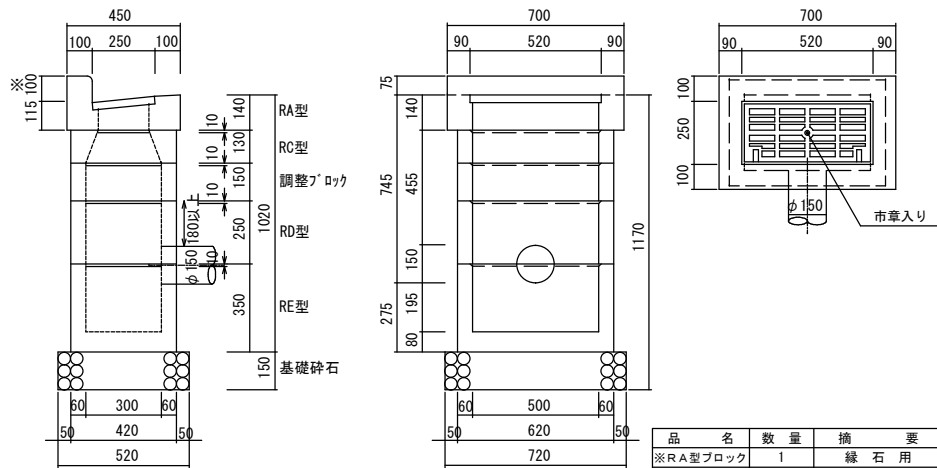


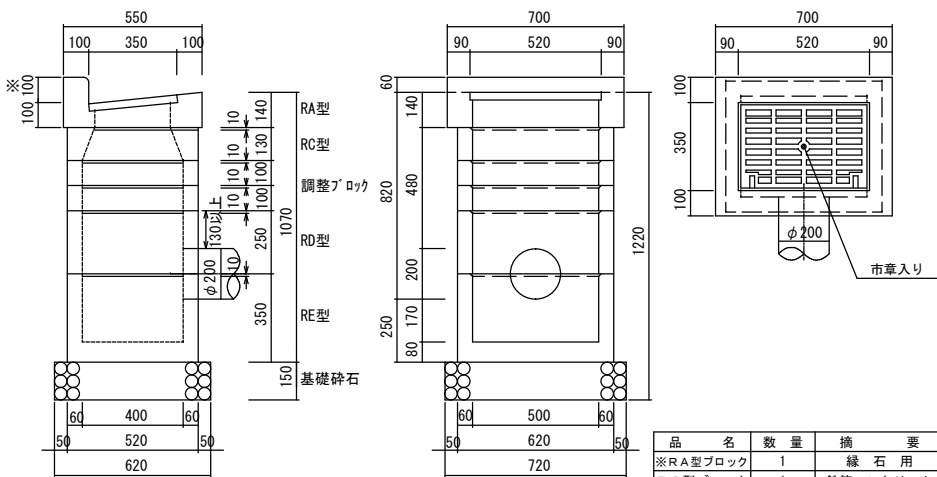
L型雨水枋構造図（450型）



※RA型ブロックについては、上記構造を標準とするが、土地利用等に合わせて、RA型ブロックの構造を使い分けること。

品 名	数 量	摘 要
※R型ブロック	1	緑 石 用
R型ブロック	1	鉄筋コンクリート
調整ブロック	1	鉄筋コンクリート、t=150mm
RD型ブロック	1	鉄筋コンクリート
RE型ブロック	1	〃
蓋 及 枠	1	ダクタイル鋳鉄製
基 礎 砕 石	0.056m ³	RC-40

L型雨水枋構造図 (550型)

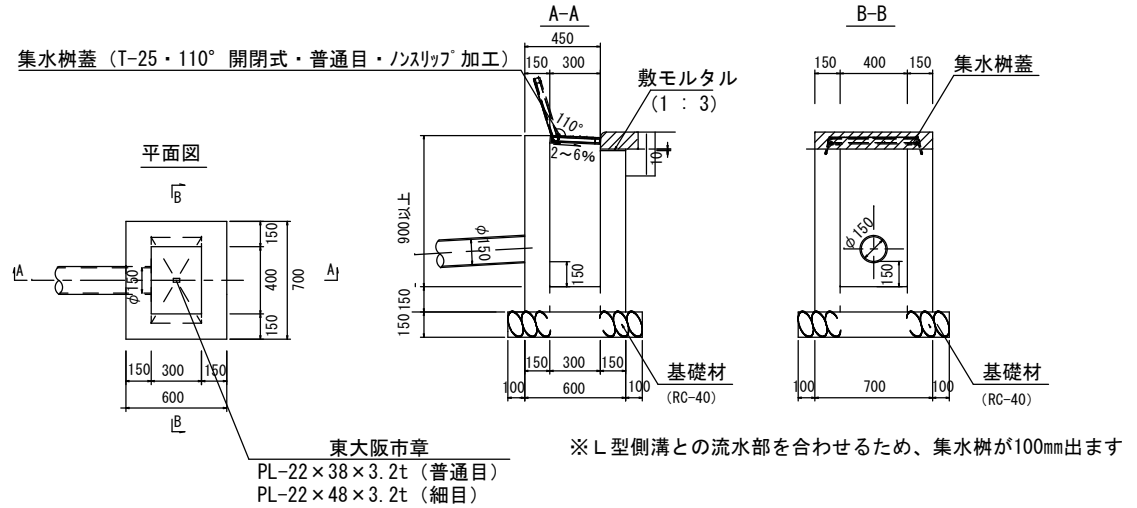


※RA型ブロックについては、上記構造を標準とするが、土地利用等に合わせて、RA型ブロックの構造を使い分けること。

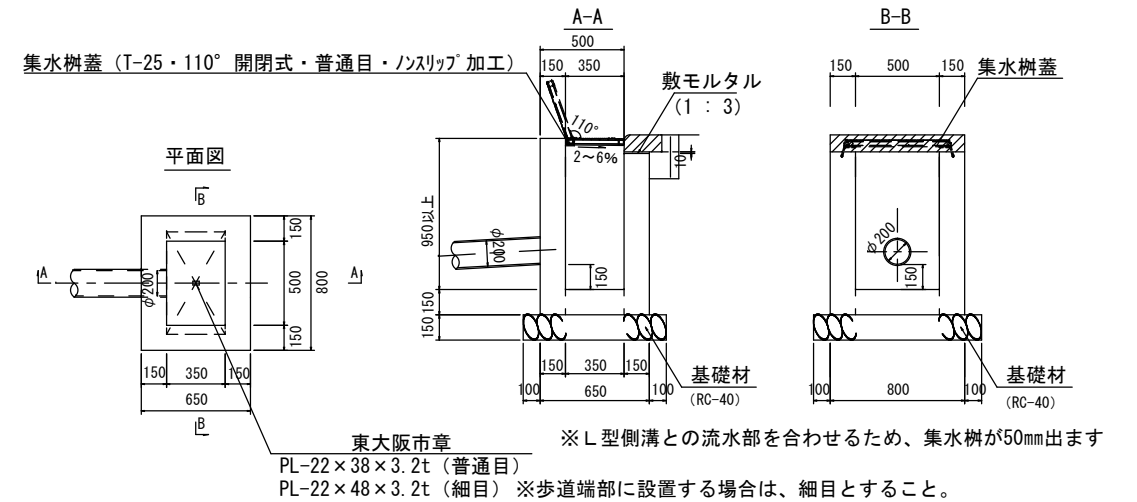
L型雨水樹を設置する間隔は、おおむね20m毎に設けるものとするが、現地状況により最終の位置を決定するものとする。

現場打ち集水桝 ※車両乗入部等に設置する場合

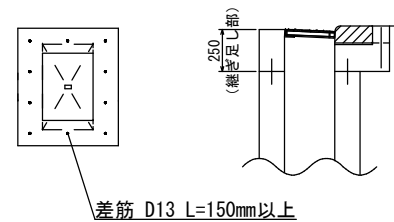
① L型側溝450型用



② L型側溝550型、街渠柵用

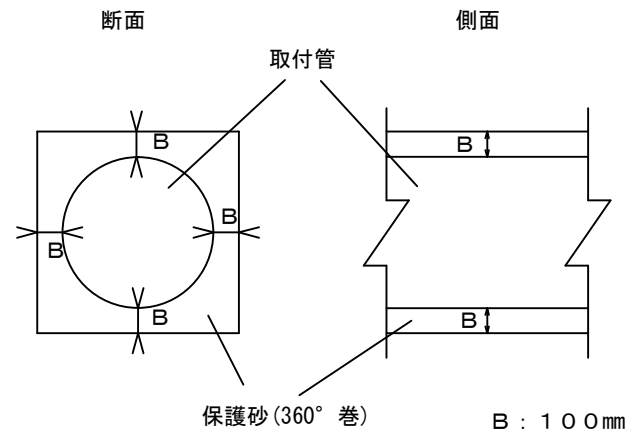


※上部と下部を分けて施工する等の二段階施工（継ぎ足し）とする場合は、下記のとおりとする。



- ・打ち継ぎ目部に差し筋（D13 L=150mm以上）を施工すること。
- ・差し筋は、集水桝の長手方向に4本以上、短手方向に3本以上施工すること。
- ・差し筋の根入れは、 $L/2$ とする。 L：差し筋の長さ

雨水取付管一般図



- ・ 管種は、VU管とする。
- ・ 管径は、雨水枡450型使用の場合 $\phi 150\text{mm}$
550型使用の場合 $\phi 200\text{mm}$ とする。
- ・ 取付管は、平面図上、一直線となるよう施工すること。
- ・ 既存管を再利用する場合は、健全性を確認の上、別途協議とする。
- ・ 既存管を撤去する場合は、管を残置せず全て除去し、管口は雨水本管の根元で閉塞すること。

